土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　西父木野川支川3外　通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.1	**調査位置**	広島県神石郡神石高原町父木野地内			**北緯**	34° 39′ 55.7017″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2022年 2月 8日 ～ 2022年 2月 9日	**東経**	133° 13′ 48.9743″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 483.29m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 40°
総削孔長	5.00m					**使用機種**	

試錐機	東邦DO-C		
エンジン	ヤンマーNFD-12	**ポンプ**	東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	481.74	1.55		砂		暗褐灰	rd3		完新世	表層0.60mは有機質な表土。 深度0.60m以深，径2～5mmの礫少量混じる細砂。 深度1.45～1.55m間，砂岩起源の細砂。	
2				砂岩	CL	淡青灰			ペルム記	岩片～短柱状コア（軟岩I）。 岩片は硬質であるが割れ目が発達。 泥質部が混在するが細粒砂岩優勢。 傾斜角20° 前後の層理を有し割れ目は開口し褐色を帯びる。 深度2.40～2.50m，珪質な岩脈。 深度4.60～4.80m，珪質岩片と粘土を充填する傾斜角60° の割れ目あり。 深度4.90m以深，割れ目に珪質岩片挟む。	
3											
4											
5	478.29	5.00									
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											

標準貫入試験

深度 (m)	深度－N値図 (0 10 20 30 40 50)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15		22	6	8	8	22/300		
1.45	○(6,8,8)							
2.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
2.60								
3.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
3.60								
4.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
4.60								
5.00	(貫入不能)		貫入不能			50/0		
5.60								

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					2/8
					2/9